

新水道ビジョンポータルサイト(案)

トップ画面	階層		
	第1	第2	第3
ポータルサイトの目的			
新着情報			
1 新水道ビジョンについて	策定の主旨	全体版 分割版	
2 重点的な実現方策	関係者の内部方策 (1)水道施設のレベルアップ (2)資産管理の活用 (3)人材育成・組織力強化 (4)危機管理対策 (5)環境対策	ロードマップ 水道関係者による 支援・方策・目標設定例	
	関係者間の連携方策 (1)住民との連携(コミュニケーション)の促進 (2)発展的広域化 (3)官民連携の推進 (4)技術開発、調査・研究の拡充 (5)国際展開 (6)水源環境の保全		
	新たな発想で取り組むべき方策 (1)料金制度の最適化 (2)小規模水道(簡易水道事業・飲料水供給施設)対策 (3)小規模自家用水道等対策 (4)多様な手法による水供給		
	新水道ビジョン推進のために早期に取り組む主要な事項		
3 新水道ビジョンの推進	新水道ビジョン推進に関するミニ懇談会	目的 会議録等	
	新水道ビジョン推進に関する地域懇談会	目的 会議録等	第1回 第2回
	都道府県(行政部局)との意見交換	目的 会議録等	
	新水道ビジョン推進協議会	目的 会議録等	第1回 第2回 第3回
	4 地域水道ビジョンについて	都道府県水道ビジョン 水道事業ビジョン	手引き 策定状況 手引き 策定状況
5 関連リンク	新水道ビジョン推進協議会 構成団体		

新水道ビジョン ポータルサイト

新水道ビジョンに必要な情報を発信しています

新水道ビジョンについて

1へ

新着情報

重点的な実現方策

2へ

新水道ビジョンの推進

3へ

地域水道ビジョンについて

4へ

関連リンク

5へ

新着情報

新水道ビジョンについて

今般、水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、これまでの「水道ビジョン（平成16年策定、平成20年改訂）」を全面的に見直し、50年後、100年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、取り組みの目指すべき方向性やその実現方策、関係者の役割分担を提示した「新水道ビジョン」を策定しました。

水道ビジョン（平成16年6月策定・平成20年改訂）

【基本理念】世界のトップランナーとしてチャレンジし続ける水道

■水道の事業環境の変化

枚挙にいとまがない課題

- ・給水人口・給水量、料金収入の減少
- ・水道施設の更新需要の増大
- ・水道水源の水質リスクの増大
- ・職員数の減少によるサービスレベルの影響
- ・東日本大震災を踏まえた危機管理対策

■関係者が基本理念を共有し、一丸となった対応が必要

関係者が共有すべき理念

- ・これまでの130年間に先達が築き上げてきた地域の需要者との信頼に基礎を置き、地に足のついた対応を図る。

世界のトップランナーのバトンを未来へつなぎ、水道を次の世代に継承

新水道ビジョン

平成25年3月策定

【基本理念】地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道

水道の理想像

安全

安心して飲める水道
適正な水質管理体制
統合的アプローチによる対応

強靱

危機管理に対応できる水道
適切な施設更新、耐震化
被災してもしなやかに対応

持続

国民から信頼され続ける水道
長期的に安定した事業基盤
人口減少社会を踏まえた対応

環境対策

国際展開

全体版

[全体版 \(PDF:1.152KB\)](#)

分割版

[表紙 \(PDF:524KB\)](#)

[目次 \(PDF:548KB\)](#)

[第1章 はじめに \(PDF:539KB\)](#)

[第2章 新水道ビジョンの基本理念 \(PDF:731KB\)](#)

[第3章 水道の現状評価と課題 \(PDF:711KB\)](#)

[第4章 将来の事業環境 \(PDF:542KB\)](#)

[第5章 取り組みの目指すべき方向性 \(PDF:723KB\)](#)

[第6章 方策の推進要素 \(PDF:539KB\)](#)

[第7章 重点的な実現方策 \(PDF:866KB\)](#)

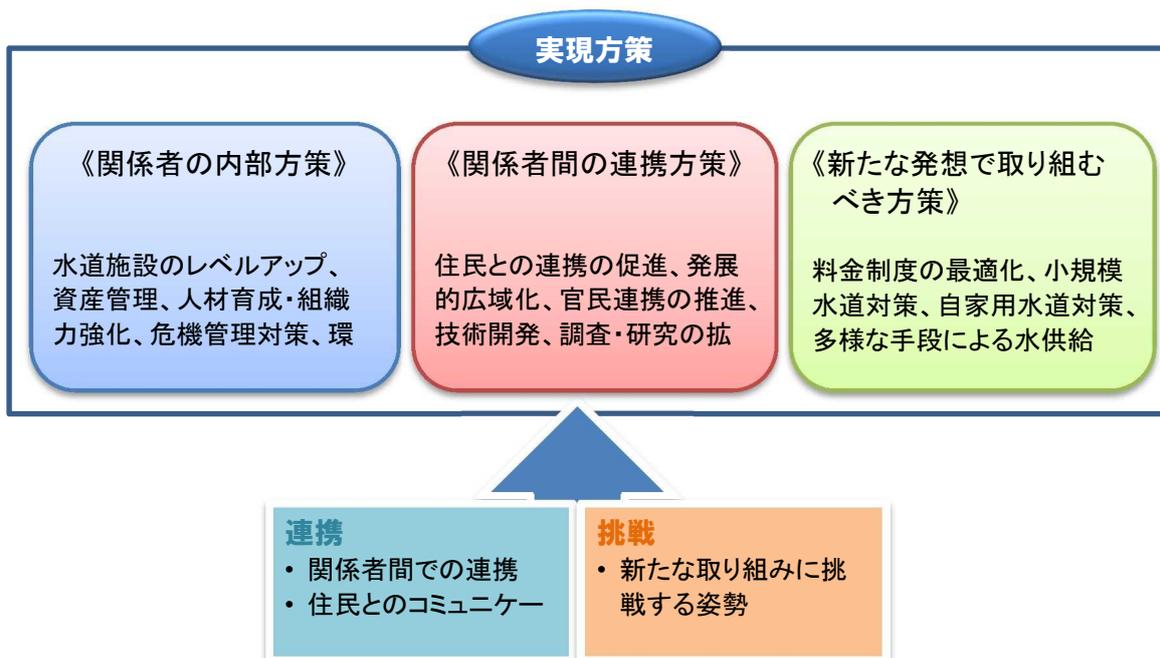
[第8章 関係者の役割分担 \(PDF:817KB\)](#)

[第9章 フォローアップ \(PDF:543KB\)](#)

重点的な実現方策

新水道ビジョンでは、将来を見据えた理想の水道像を「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点から捉え、関係者で共有することとしています。実現方策については、一つの方策が3つの観点を複数に関係する場合があることから、取り組む主体に着目し、その内部的な調整を経て実施できる方策、対外的な連携により実施できる方策、さらに、従来の枠組みにとらわれることなく、新たな発想で取り組むべき方策に整理して示します。

なお、ここで示す方策は、水道関係者が取り得る様々な方策のうち、水道の現状評価と課題、将来の事業環境を踏まえつつ、方策の推進要素である「挑戦」と「連携」をもって取り組むべきものを、重点的な実現方策として示すこととします。



重点的な実現方策		ロードマップ	先進事例	
関係者の内部方策	水道施設のレベルアップ	施設更新時の再構築	先進事例	
		施設の適正な維持管理、情報の電子化		
	資産管理の活用(アセットマネジメント)	ロードマップ	先進事例	
	人材育成・組織力強化	職員教育の充実化	ロードマップ	先進事例
		水道事業管理者・水道技術管理者の適切配置		
	危機管理対策	水源事故対策	ロードマップ	先進事例
		施設耐震化対策		
		BCPなどの事前の応急対策		
		資機材等確保対策		
		応急給水の準備対応		
水道事業における危機管理マニュアル等の整備				
停電を想定したエネルギー対策				
環境対策	省エネ・再エネの促進	ロードマップ	先進事例	
	浄水発生土と建設発生土の有効利用			

→2-1へ

関係者間の連携方策	住民との連携(コミュニケーション)の促進	住民への積極的な情報提供の拡大	ロードマップ	先進事例
		水道水に対する信頼性向上の取り組み		
		環境学習、社会学習の場の提供		
		飲料水へのニーズの多様化に対する活動		
		地震等災害時の住民との連携		
		広報の組織体制		
	発展的広域化	近隣水道事業者との広域化の検討を開始	ロードマップ	先進事例
		次の展開として広域化の取り組み推進		
		発展的な広域化による連携推進		
	官民連携の推進	多様なPPPの活用	ロードマップ	先進事例
		官民の人事交流の活用		
	技術開発、調査・研究の拡充	技術力確保・向上	ロードマップ	先進事例
		技術開発の推進		
		調査・研究の推進及びその成果の活用		
	国際展開	海外への展開と水ビジネスの運動推進	ロードマップ	先進事例
職員の研修による人材育成				
日本の技術・ノウハウの国際的活用				
水源環境の保全	水源等の環境保全対策			
新たな発想で取り組むべき方策	料金制度の最適化	通増型料金制度の検証	ロードマップ	先進事例
		料金格差の是正		
	小規模水道(簡易水道事業・飲料水供給施設)対策	簡易水道事業対策	ロードマップ	先進事例
		飲料水供給施設対策		
	小規模自家用水道等対策	簡易専用水道、貯水槽水道等の管理強化	ロードマップ	先進事例
		飲用井戸等小規模自家用水道の管理強化		
		給水形態の見直し		
多様な手法による水供給		ロードマップ	先進事例	

新水道ビジョン推進のため早期に取り組む主要な事項

新水道ビジョン推進のための各種方策に関わる取り組みのうち、早期に取り組む主要な事項について示します。また、これら8項目については、目的や成果等を共有し、目標を明示することで、関係者間で連携して各種方策の推進を図ります。

主要な重点的な実現方策	ロードマップ
新水道ビジョン推進のため早期に取り組む主要な事項	ロードマップ

先進事例の紹介

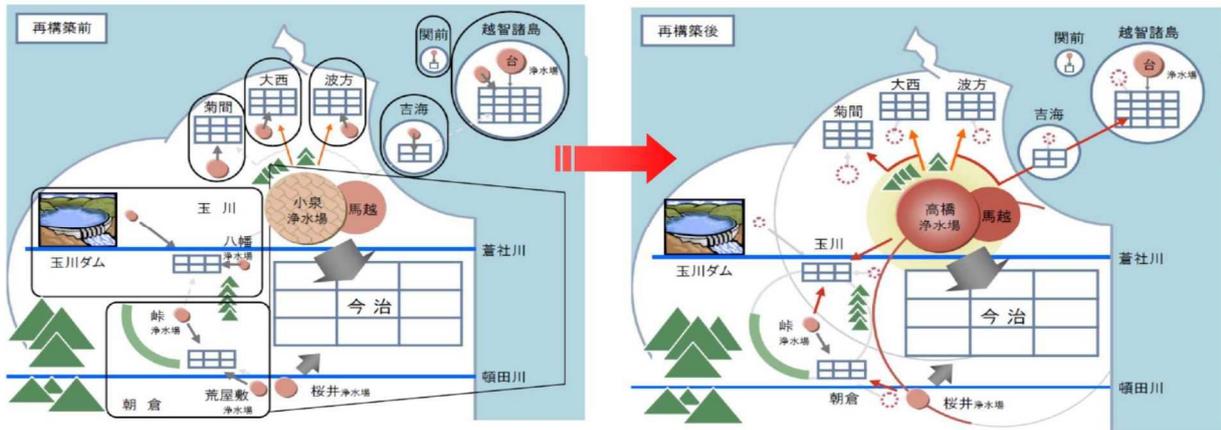
「東京水道 施設再構築 基本構想」における水道施設の安全確保の施策



今治市の施設再構築の事例

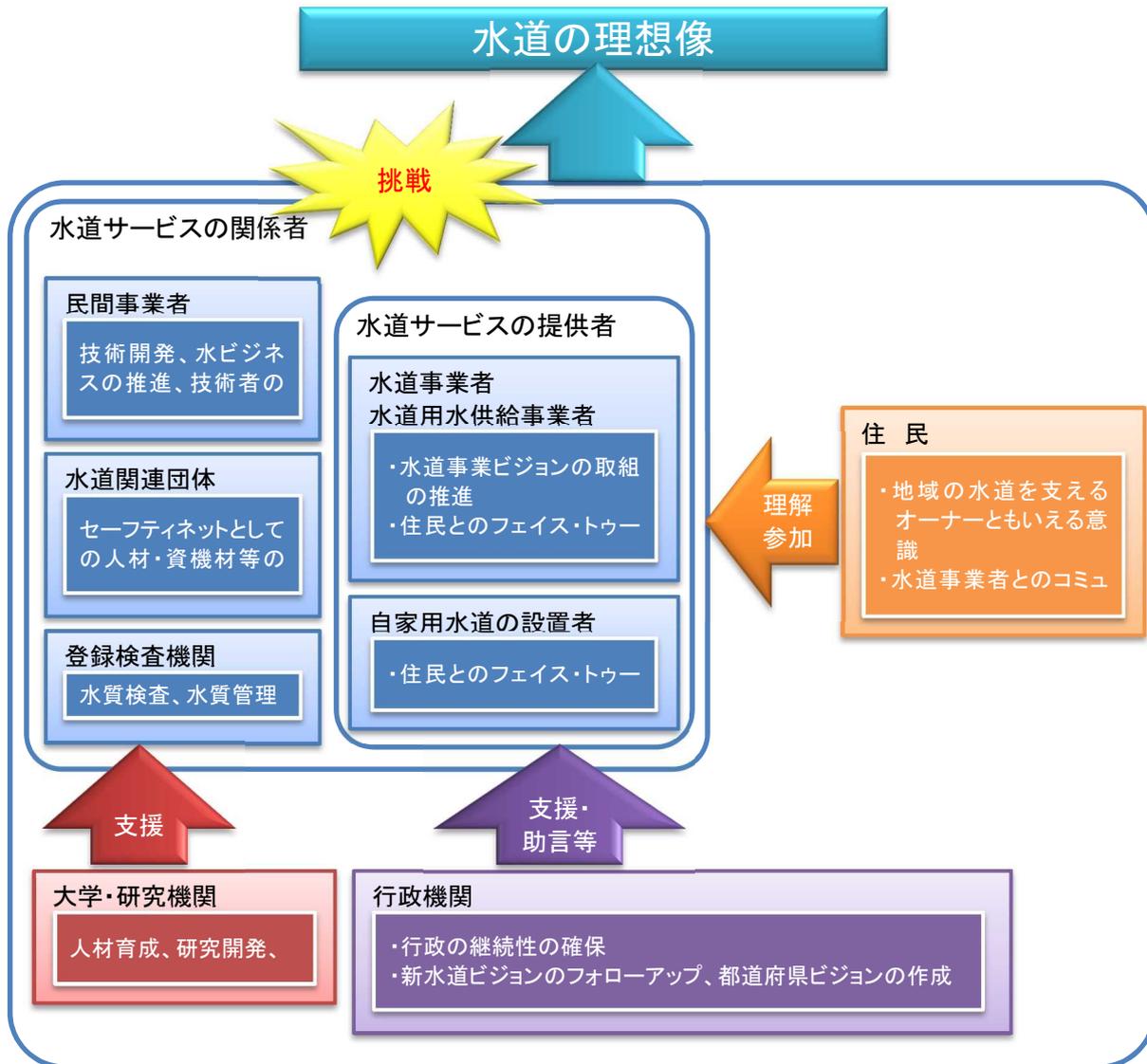
今治市は、平成17年1月に1市11町村が合併した。瀬戸内海沿岸の合併地区と島嶼部は水源に恵まれず、施設の老朽化、水質の悪化、冬場の水不足等が問題となっている。

これを解決する方法として分散する給水拠点を各個改良してゆくことも考えられるが、コストとメリットを考量し、何らかの改良が必要なものやメンテナンスが困難なものは原則的に廃止することとした。その上で、旧今治市の基幹浄水場の機能強化とともに、従来は分散する需要地毎に完結していた水道システムを、基幹浄水場から各地区に分水するシステムに再構築することとした。



新水道ビジョンの推進

各種方策の実施にあたっては、関係者がそれぞれの立場に応じて適正に役割分担することが必要です。



厚生労働省では、新水道ビジョンに示された各種施策を推進するため、以下の取り組みを実施しています。

関係機関		
水道事業者	都道府県	関係団体
<ul style="list-style-type: none"> ・新水道ビジョン推進に関するミニ懇談会 → 3-1へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県(行政部局)との意見交換 → 3-3へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・新水道ビジョン推進協議会 → 3-4へ
<ul style="list-style-type: none"> ・新水道ビジョン推進に関する地域懇談会 → 3-2へ 		

新水道ビジョン推進に関するミニ懇談会

特定の水道事業から参加する各水道事業者の要職にある方々から、地域の実情を意見交換しました。

開催日	議事要旨
平成25年 (2013年) 10月30日	議事要旨

新水道ビジョン推進に関する地域懇談会

全国各地の水道事業者等による各種方策の推進について、その取り組みの内容を都道府県及び水道事業者らが情報共有するとともに、全国的に広くそれを発信して、地域内の連携を図り、「新水道ビジョン」に示した施策を積極的に推進することを目的として厚生労働省主催で開催するものです。

都道府県を超えた連携

- 全国各地の水道事業において、課題を解決するための様々な取り組みが検討され、実現しようとしている。
- 都道府県を超えて、先進的事例の情報交換を行い、地域にマッチした課題解決の手法を見出すことに期待するもの。

新たな試みの事例紹介

- 新水道ビジョン第7章に掲げる「重点的な実現方策」のメニューを中心に、実際に取り組みを開始又は完了した事例を広く紹介する。

期待すること

地域懇談会の成果、意見等は、厚労省においてロードマップの作成及びその後のフォローアップの参考とする。

- 都道府県域を超えた先進事例の周知と地域へのマッチング
- 先進的取り組みのノウハウを共有し、広く導入しやすい環境を整備（ポータルサイト等での情報の発信と活用しやすいツールの検討）
- 国や都道府県行政も先進的取り組みを後押しし、連帯感を醸成（制度的問題のアドバイスにも技術的に支援）
- 率先して行う取り組み事例に対して、関係者間での支援

回数	開催日	開催地域	先進事例	議事要旨	資料等	開催案内
第3回				議事要旨	資料等	開催案内
第2回	平成26年 (2014年) 2月21日	九州・沖縄 地域	(1) 自治体の枠組みを超えた水道事業の広域化 (2) 官民連携による発展的広域化 (3) 多様な手法による水供給の取り組み状況 (4) 沖縄県における水道広域化の取り組み	議事要旨	資料等	開催案内
第1回	平成25年 (2013年) 11月25日	北海道・東 北地域	(1) 北海道における水道事業等の広域化など多様な運営形態の推進について (2) 圏域を越えた発展的広域化推進 (3) 新水道ビジョン」で何故連携が必要なのか！～連携から考える持続的な水道事業～	議事要旨	資料等	開催案内

都道府県(行政部局)との意見交換

行政機関(都道府県)との連携を図り、新水道ビジョンに掲げた都道府県の役割発揮に寄与できるよう取り組みを推進します。

新水道ビジョンにおいては、都道府県への役割として「①広域的な事業間調整機能」や「②流域単位の連携推進機能」を求めている。

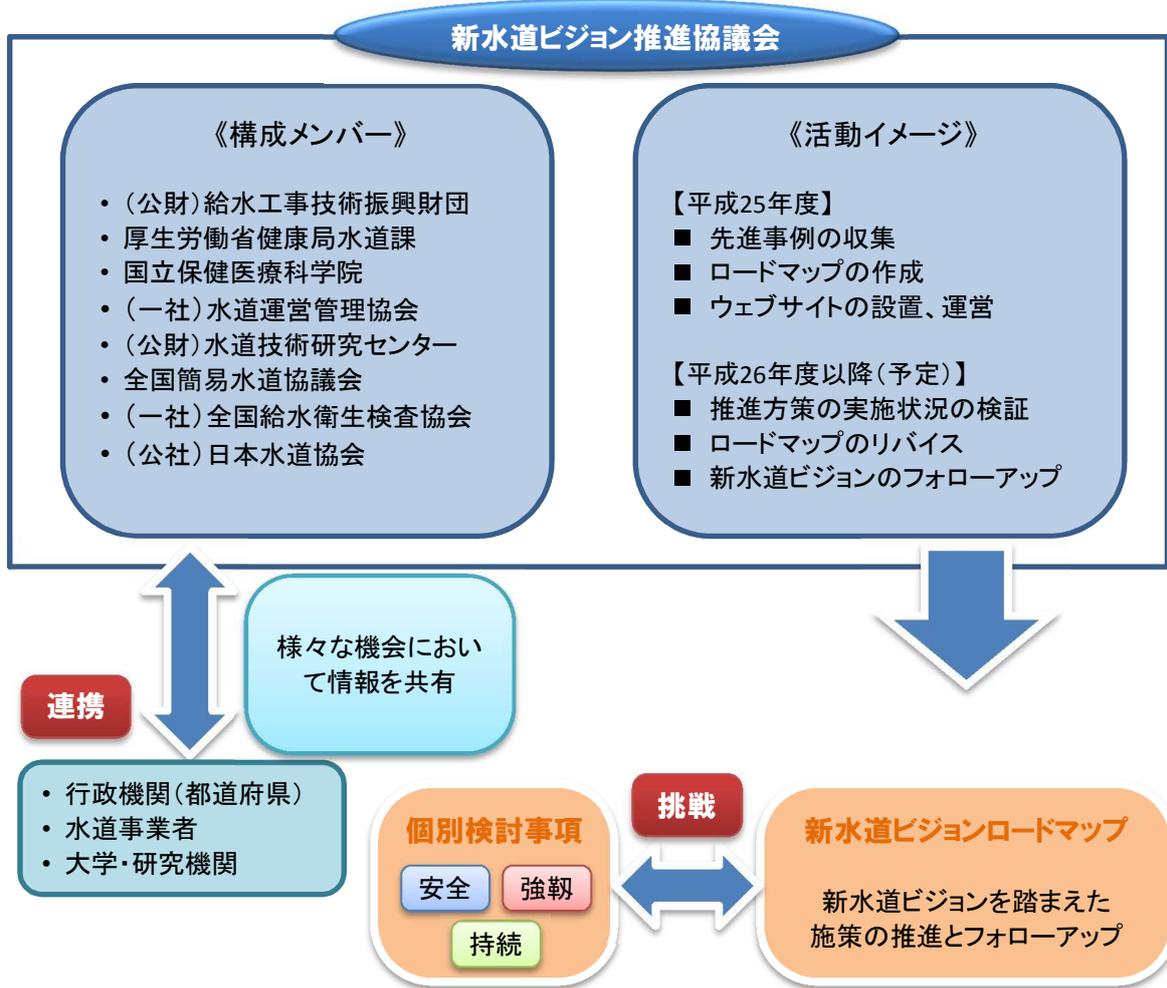
都道府県は、厚生労働省と権限を分担している性格もあることから、水道行政としての各種情報の共有を図るとともに、各種方策の推進にあたって連携した取り組みを検討しつつ、水道事業者への適切な指導・助言、小規模貯水槽水道の管理強化等の水道行政の役割を一丸となって推進していく必要があります。

都道府県衛生行政担当者をターゲットとした意見交換・情報交換を拡充し、新水道ビジョンの考え方を踏まえた対応が望ましいことから、平成25年度から都道府県衛生行政担当者との新たな会議の場を設置することとし、そこで、新水道ビジョン推進協議会を補完する連携を図ります。

開催日	都道府県(行政部局)との意見交換
平成25年 (2013年) 10月～12月	結果報告

新水道ビジョン推進協議会

新水道ビジョンに示された各種方策を推進するため、方策の実施主体となる関係者が実施状況を共有し、密接に連携するための枠組みとして開催しています。



回数	開催日	議題等	議事要旨	資料等	開催案内
第3回	平成26年 (2014年) 3月28日		議事要旨	資料等	開催案内
第2回	平成26年 (2014年) 1月21日	(1) 第1回協議会議事録(案)について (2) 新水道ビジョン推進関連の取り組み等について (3) ロードマップ案について (4) その他	議事要旨	資料等	開催案内
第1回	平成25年 (2013年) 8月28日	(1) 新水道ビジョン推進協議会開催要領(案) (2) 国における新水道ビジョンの重点的な実現方策のロードマップ案 (3) 新水道ビジョン推進のため早期に取り組む主要な事項	議事要旨	資料等	開催案内

厚生労働省においては、新水道ビジョンにおいて水道事業者等や都道府県の役割分担を明確にし、水道事業者等の取組を推進するために、「水道事業ビジョン」の作成を推奨するとともに、各水道事業者等が作成した「水道事業ビジョン」を踏まえ、都道府県が水道整備基本構想等の的確な見直しを行い、広域的な観点から、都道府県単位での水道事業等を包括した「都道府県ビジョン」を作成することについても推奨しているところです。

【新水道ビジョン】・・・厚生労働省

- 関係者が共有する基本理念【信頼を未来につなぐ日本の水道】を提示。
- 最終的には50年から100年後を見据えた水道の理想像が具現化。
- 取り組みの目指すべき方向性を提示。
- 重点的な実現方策を定め、役割分担を明示。

【都道府県水道ビジョン】・・・都道府県

- 個々の水道事業者では乗り越えられない課題解決の先導役となる役割が求められる。
- 水道事業の財政問題、技術基盤、人材確保など諸問題への対応。
- 流域単位で、水源保全、水質監視、渇水対策など諸問題への

- ▶ [都道府県水道ビジョンの手引き \(PDF:00KB\)](#)
- ▶ [策定状況](#)

【水道事業ビジョン】・・・水道事業者・水道用水供給事業者

- 地域の中核的な水道事業者と中小規模水道事業者は、それぞれの理想像に向けての方策のプロセスが異なると考えられる。
- 水道用水供給事業は、水道事業と異なり、受水水道事業者との給水実態に適合した事業規模の設定や効率的な施設運用の検討が必要になる。

- ▶ [水道事業ビジョンの手引き \(PDF:00KB\)](#)
- ▶ [策定状況](#)

新水道ビジョン推進協議会 構成団体
[\(公財\)給水工事技術振興財団](#)
[国立保健医療科学院](#)
[\(一社\)水道運営管理協会](#)
[\(公財\)水道技術研究センター](#)
[全国簡易水道協議会](#)
[\(一社\)全国給水衛生検査協会](#)
[\(公社\)日本水道協会](#)
[\(一社\)日本水道工業団体連合会](#)